

日中の気温が低くなり、冬の訪れを感じます。実り多い秋、子どもたちは大学の森で落ち葉や木の実を拾い、一人ひとりの子どもたちの小さな発見や驚きがたくさんありました。園庭にはそれぞれお気に入りの場所があり、斜面を上り下りして楽しんでいる子ども、砂場で黙々と砂遊びをする子ども、石や木の実を拾い集める子ども……。思い思いに遊んでいます。室内では友だちと関わる姿が増え、泣いている友だちに玩具を渡し、何かをしてあげたい気持ちが芽生えたり、ままごとで「あーん」「パク」のやり取りを楽しんだりしています。

そして、保育センターでは大きな喜びと感謝の気持ちでいっぱいになるアドベントを迎えました。指人形を使い、イエスさまの誕生の出来事を話すと、目を輝かせて静かに人形を見て、さんびかやお祈りにじっと耳を傾けていた子どもたちでした。神さまの愛を感じながらアドベントをゆったり過ごしたいと思います。



大学の森で友だちが木の実を拾って袋に入れているのを見て、袋を取りに来たAちゃん。袋を片手に木の実を拾うのですが、袋には入れず、拾う度に友だちや保育者に渡すとっても気前のいいAちゃん、袋の中は空っぽでしたが満足そうでした！

11月25日(月)からイエスさまの誕生をお祝いするクリスマスを迎えるアドベントに入りました。アドベント1週目には、天使からお告げを聞いたマリアとヨセフの話を聞いて、礼拝をまもりました。マリアとヨセフのパネルを見て、「パパ、ママね」「マリアさん！」等と指を差し、保育者が歌うさんびかに耳を澄まし聞き入っていました。また、毎日一人一つずつアドベントカレンダーに飾りをつけ、クリスマスまでの日を楽しみに過ごします。飾りをつける子どもたちの表情は、喜びに満ち溢れとても愛らしいです。

12月21日(土)のクリスマス礼拝・祝会では、お家の方と一緒に過ごし、クリスマスのお祝いをすることを楽しみにしています。子どもからのお家の方へのプレゼントは、絵の具でタンポをしたり、シールを貼ったりして、クリスマスツリーを作っています。当日、楽しみにしててくださいね。



「今日はAくんの誕生日だね」と保育者が話していたことをよく覚えていたBくん。その日の戶外遊び、園庭の隅でBくんは砂山に枝や実で飾ったケーキを作り、「これAくんのケーキつくった！」と、Aくんが現れるのをワクワクしながら待っていました。そして、Aくんに来てもらい、ケーキを囲んでみんなでお祝いしました。嬉しそうに微笑み合うAくんとBくん、心が温くなるほっこりエピソードでした。

朝夕の冷え込みで寒さを感じるようになり、いよいよ冬の訪れです。そんな中でも、子どもたちは園庭や聖和の森で元気いっぱい体を動かしています。

11月25日(月)からアドベントに入りました。アドベントカレンダーに掛ける飾りは、はさみを使った制作を楽しみました。初めてはさみを使った時に比べ、スムーズに切れるようになり、「次はピンク!」「もっとやりたい!」と色画用紙の短冊を次々と切り進めていました。また、クリスマスプレゼント制作では、お家の方にプレゼントすることを楽しみに一生懸命作っています。楽しみにしててくださいね。

アドベント期間、イエスさまの誕生の話を聞いたり、さんびかを歌ったりしながら、お家の方と一緒に過ごすクリスマス礼拝・祝会の日を楽しみに過ごしていきたいと思っています。



聖和の森にどんぐりがたくさん落ちていました。みんな袋いっぱい集めます。するとAちゃんが、「みんなどんぐり持っているのに先生のどんぐりないね。Aちゃんの1つあげる。」と言ってどんぐりを分けてくれました。Aちゃんの優しさに心が温まりました。